

PRESS RELEASE

2013 年 4 月 3 日

「東京の街」に関する意識調査

～現代の東京らしい街は“六本木”が 1 位に～

六本木ヒルズは 4 月 25 日(木)に開業 10 周年を迎えます。

この度、六本木ヒルズ開業 10 周年を機に、首都圏在住の 20～50 代の男女 516 名を対象に、「東京の街」、「10 年間の東京の街の変化」に関する意識調査を実施しました。(詳細は、次頁以降の調査資料をご参照ください。)

調査結果 概要

① 9 割以上が東京を「好き」と回答。現代の東京らしい街は“六本木”が 1 位に

『あなたは東京が好きですか?』という質問に対し、「とても好き(37.8%)」、「好き(52.5%)」という結果となり、9 割以上の方が東京を「好き」と回答しました。また、『現代の東京らしいと思うエリア』については、1 位「六本木(49.6%)」、2 位「銀座・有楽町(44.6%)」、3 位「渋谷(36.0%)」という結果となりました。

② 10 年間で最も変化した東京の街、1 位は「秋葉原」。次いで、2 位「六本木」、3 位「お台場」の結果に

『この 10 年間で最も変化した東京の街はどこですか?』という質問に対し、1 位「秋葉原」(21.7%)、2 位「六本木」(20.0%)、3 位「お台場」(13.0%)という結果となりました。年代別(20～50 代)に見ると、20 代、30 代は、全体の結果と同様に「秋葉原」が最も多い結果となりましたが、40 代 50 代に関しては、「六本木」の回答が最も多く、年代によって、この 10 年間で変化した東京の街に対するイメージの違いが明らかとなりました。

③ 10 年の時を経て、六本木が「危険・怖い街」から「親子・家族が楽しめる街」のイメージに変化

『この 10 年間で最も変化した東京の街はどこですか?』という質問に対し、「六本木」と回答した方に、「六本木」の 10 年前と 10 年後である現在のイメージについて聞いたところ、10 年前は「危険・怖い街(24.3%)」と回答する方が多い結果となりましたが、10 年後(現在)では、「親子・家族が楽しめる街(27.2%)」や「ショッピングスポット(43.7%)」、「先進的な街(43.7%)」、「デートスポット(39.8%)」、「文化的な街(35.9%)」との回答が多く、10 年の時を経て、六本木の街のイメージも大きく変化することがわかりました。

また、現在の六本木のイメージで、「危険・怖い街」と回答した方は、6.8%と、10 年前のイメージと比べて、大きく減少傾向にありました。

④ この 10 年間で六本木の街の変化に最も影響を与えたのは、「六本木ヒルズの誕生」

『この 10 年間で六本木のイメージに最も影響を与えたと思う、六本木の街の変化』という質問に対して、7 割以上の方が「六本木ヒルズの誕生(72.3%)」と回答しました。次いで、「東京ミッドタウンの誕生(13.8%)」、「国立新美術館 開館(6.6%)」の回答が多い結果となりました。六本木が「危険・怖い街」から「親子・家族が楽しめる街」、「ショッピングスポット」、「デートスポット」のイメージに変化した要因として、六本木ヒルズの誕生が大きな影響を与えたことがうかがえます。

⑤ 今後、東京で最も期待する体験は“文化的体験”

『あなたが今後、東京で最も期待する体験はどのような体験ですか?』の質問に対して、「文化的体験(40.1%)」がトップとなり、次いで、「国際的体験(27.3%)」、「人々との交流(24.4%)」が多い結果となりました。「スポーツ体験」との回答はわずか 2.5%で、今後、東京で最も期待する体験としては低い結果となりました。

⑥ この 10 年間で最も変化した生活環境は、「インターネット環境」

『東京でのこの 10 年間、最も変わったと思う生活環境は何ですか?』との質問に対して、「インターネット環境」を回答した方が 62.6%と最も多い結果となりました。近年のソーシャルメディアの普及も大きく影響していると推測されます。



調査資料

【調査概要】

調査実施日：2013年2月26日（火）

調査方法：インターネットリサーチ

調査対象：首都圏在住の20～50代の男女516名

実施機関：株式会社マクロミル

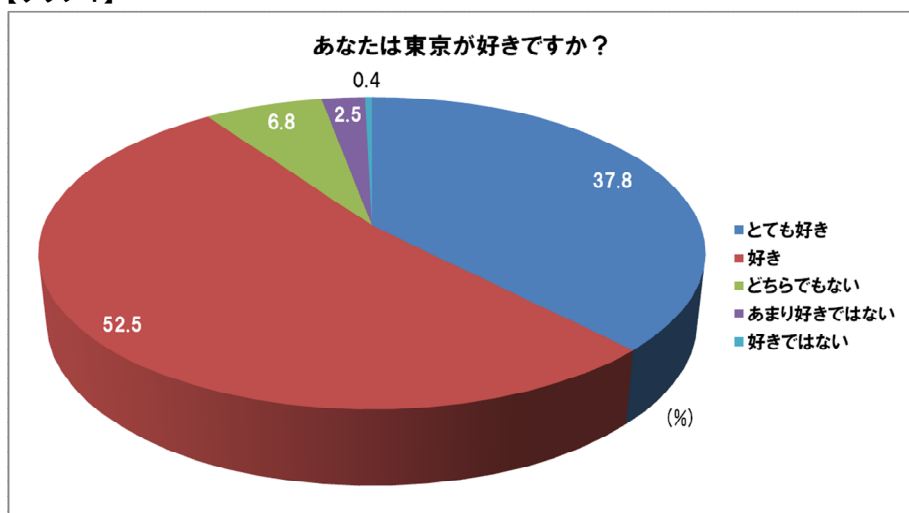
① 9割以上が東京を「好き」と回答。現代の東京らしい街は“六本木”が1位に

『あなたは東京が好きですか？』という質問に対し、「とても好き(37.8%)」、「好き(52.5%)」という結果となり、**9割以上の方が東京を「好き」と回答しました。**【グラフ1】

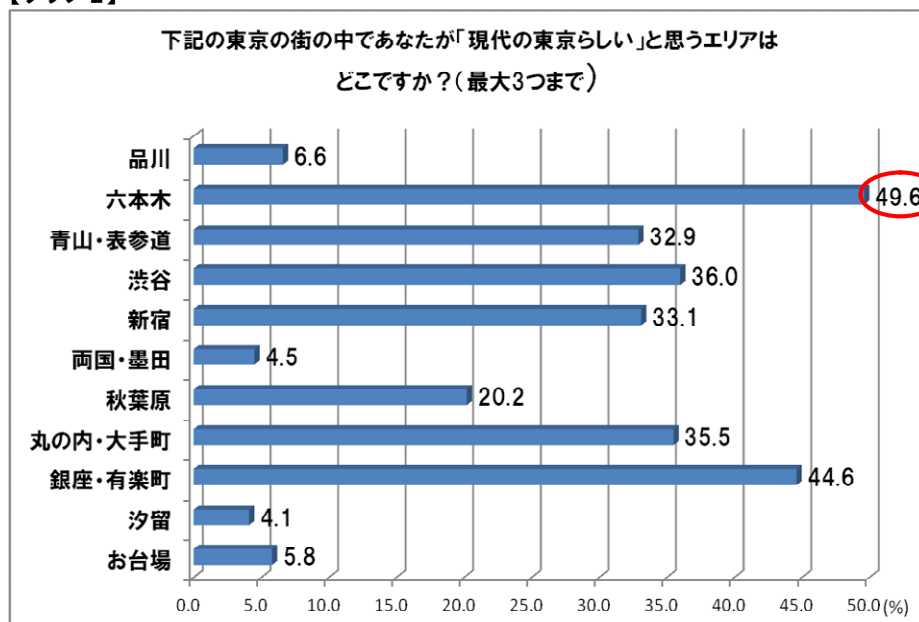
『あなたは東京が好きですか？』という質問に対し「とても好き」「好き」と回答した466名に理由を聞いたところ、「最先端の文化を体験できる」や「色々な側面、表情をもっているから」、「何でも揃っている、便利」、「活気がある」などの声が多い傾向にありました。

また、『現代の東京らしいと思うエリアはどこですか？』の質問に対しては、**1位「六本木(49.6%)」、2位「銀座・有楽町(44.6%)」、3位「渋谷(36.0%)」**という結果となりました。【グラフ2】

【グラフ1】



【グラフ2】



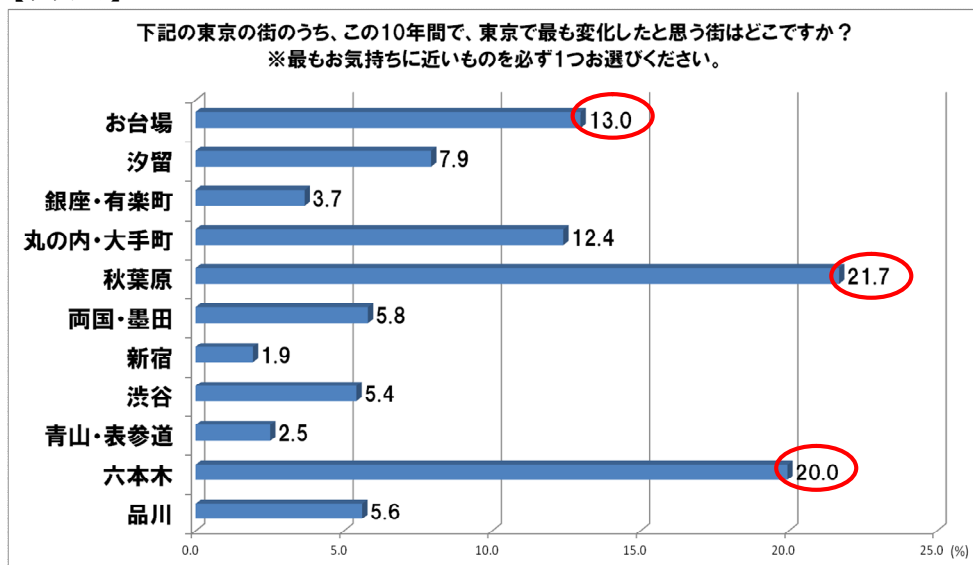


② 10年間で最も変化した東京の街、1位は「秋葉原」。次いで、2位「六本木」、3位「お台場」の結果に

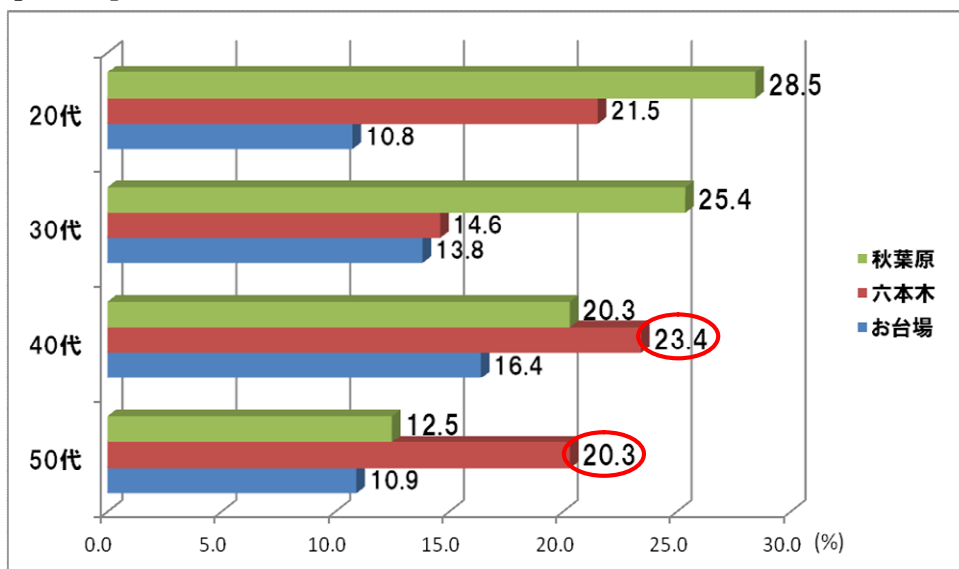
『この10年間で最も変化した東京の街はどこですか?』という質問に対し、1位「秋葉原」(21.7%)、2位「六本木」(20.0%)、3位「お台場」(13.0%)という結果となりました。【グラフ3】

上位の3都市の回答率を年代別(20~50代)に見ると、20代、30代は、全体の結果と同様に「秋葉原」が最も多い回答率となりましたが、40代50代に関しては、「六本木」の回答率が最も多く、年代によって、この10年間で変化した東京の街に対するイメージの違いが明らかとなりました。【グラフ4】

【グラフ3】



【グラフ4】



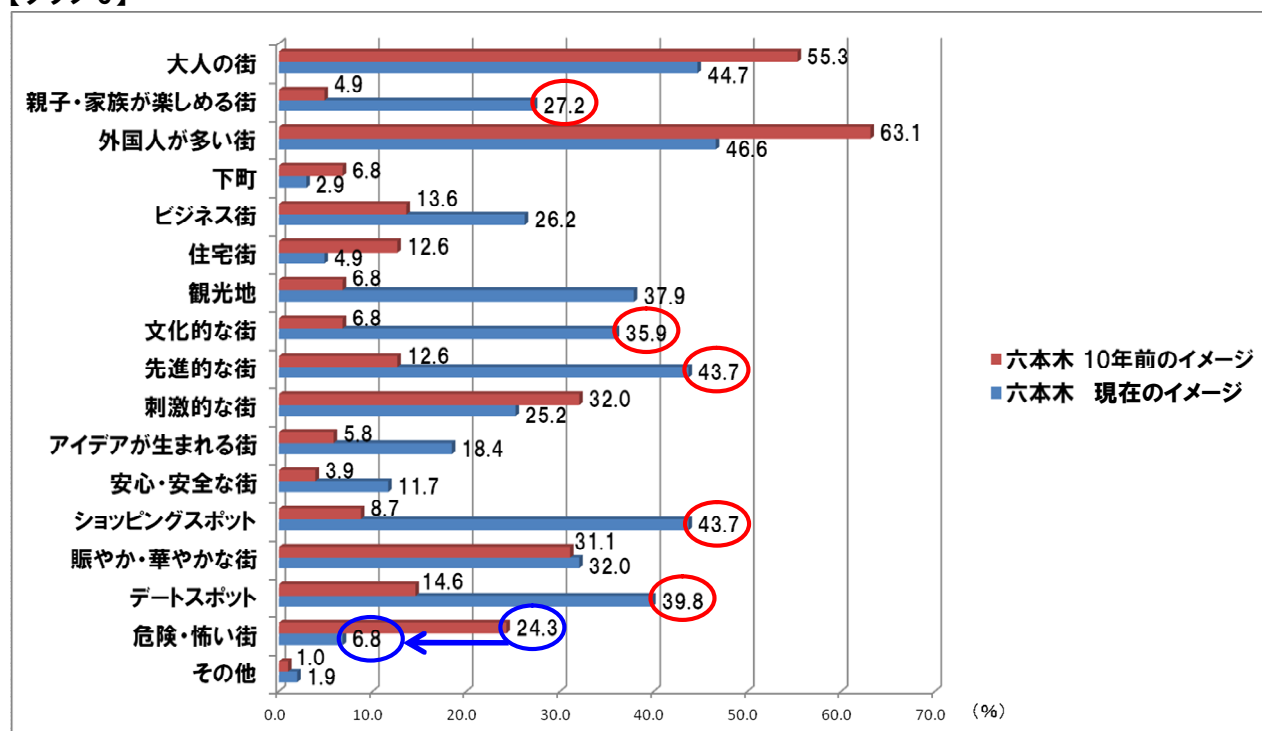


③ 10年の時を経て、六本木が「危険・怖い街」から「親子・家族が楽しめる街」のイメージに変化

『この10年間で最も変化した東京の街はどこですか?』という質問に対し、「六本木」と回答した103名に、「六本木」の10年前と10年後である現在のイメージについて聞いたところ、10年前は「外国人の多い街(63.1%)」や「危険・怖い街(24.3%)」と回答する方が多い結果となりましたが、現在では、「親子・家族が楽しめる街(27.2%)」や「ショッピングスポット(43.7%)」、「先進的な街(43.7%)」、「デートスポット(39.8%)」、「文化的な街(35.9%)」の回答が多く、10年の時を経て、六本木の街のイメージも大きく変化したことがわかりました。

また、現在の六本木のイメージで、「危険・怖い街」と回答した方は、6.8%となり、10年前の24.3%と比較すると17.5%減少した結果となりました。【グラフ5】

【グラフ5】



六本木ヒルズ 親子向けサービス

六本木ヒルズでは、親子向けの施設やサービス、イベント等を数多く実施しています。

親子でゆっくりと寛ぎながら気兼ねなくお子さまのお世話をしていただける無料のスペース『おやこ休憩室』やお子さま連れの方のために、六本木ヒルズ内でのベビーカーの貸出し、お子さまが使いやすい高さ、大きさの設備、保護者の方が手伝いしやすいスペースを確保した『こどもトイレ』を設置しております。

また、託児サービス『キッズスクエア』では、お子さまをお預かりするだけではなく、集団での活動やリズム遊びといった教育プログラムを持って、楽しい時間をお過ごしいただけます。その他にも、夏休み期間のキッズワークショップなどイベントも数多く開催しています。

また、六本木ヒルズ開業10周年を記念した、ショップ&レストランのリニューアルでは、「ポール・スミス」らしさはそのままに、遊び心や子供らしい可愛らしさを加えたコレクション「ポール・スミス ジュニア」や米国ブランド

LittleMissMatchedを中心とした、カラフルで楽しいアパレル及び服飾雑貨のお店「サーカスキッズ」など、キッズ店舗がオープンします。



<おやこ休憩室>

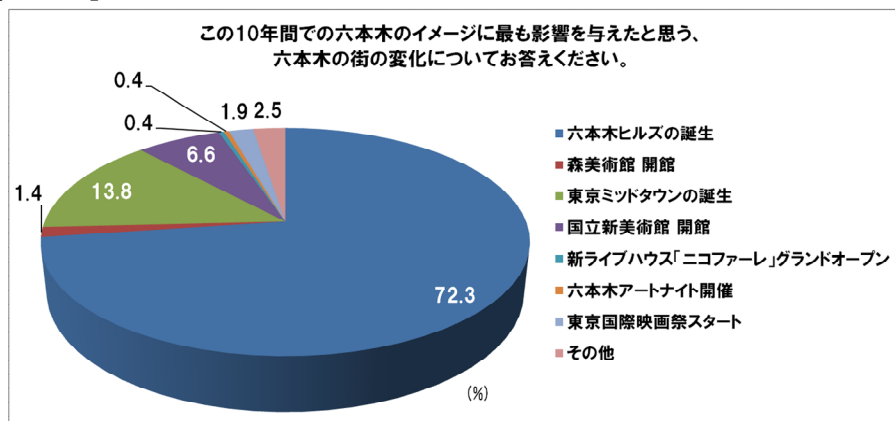


④ この10年間で六本木の街の変化に最も影響を与えたのは、「六本木ヒルズの誕生」

『この10年間で六本木のイメージに最も影響を与えたと思う、六本木の街の変化』について、**7割以上の方が「六本木ヒルズの誕生(72.3%)」と回答しました。**次いで、「東京ミッドタウンの誕生(13.8%)」、「国立新美術館開館(6.6%)」の回答が多い結果となりました。【グラフ6】

六本木が「危険・怖い街」から「親子・家族が楽しめる街」、「ショッピングスポット」、「デートスポット」のイメージに変化した要因として、六本木ヒルズの誕生が大きな影響を与えたことがうかがえます。2003年に職・住・遊・学・憩・食など様々な都市機能が複合した六本木ヒルズの開業をきっかけに、六本木は人々に多様な利用機会を提供する街へと変わり続けています。多様な六本木の街の魅力、それに引き寄せられた人々が生み出す新たな交流、そこから生まれる新たな価値観や文化、そのサイクルが街の魅力を高め続けていると考えます。

【グラフ6】



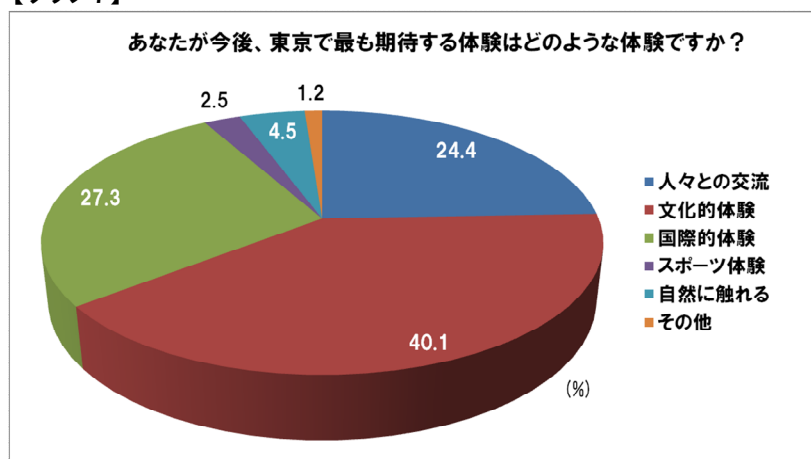
⑤ 今後、東京で最も期待する体験は“文化的体験”

『あなたが今後、東京で最も期待する体験はどのような体験ですか?』の質問に対して、「**文化的体験(40.1%)**」が**トップ**となり、次いで、「国際的体験(27.3%)」、「人々との交流(24.4%)」が多い結果となりました。「スポーツ体験」との回答はわずか2.5%で、今後、東京で最も期待する体験としては低い結果となりました。【グラフ7】

六本木は、『東京の街の中で“新しい情報や文化に溢れている街”』で**トップ**となっており、【グラフ8】そのようなイメージ形成の1つの要因として、六本木ヒルズが開業以来取り組み続けてきた、内部のコミュニティはもとより、近隣地域との交流・連携を通じ、街を活性化する仕組みである「**タウンマネジメント**」があると考えます。街に関係した人々の交流が積極的に促されるこの仕組みにより、今までも、そしてこれからも、六本木ヒルズらしいアイデアや文化が、六本木から生まれていきます。

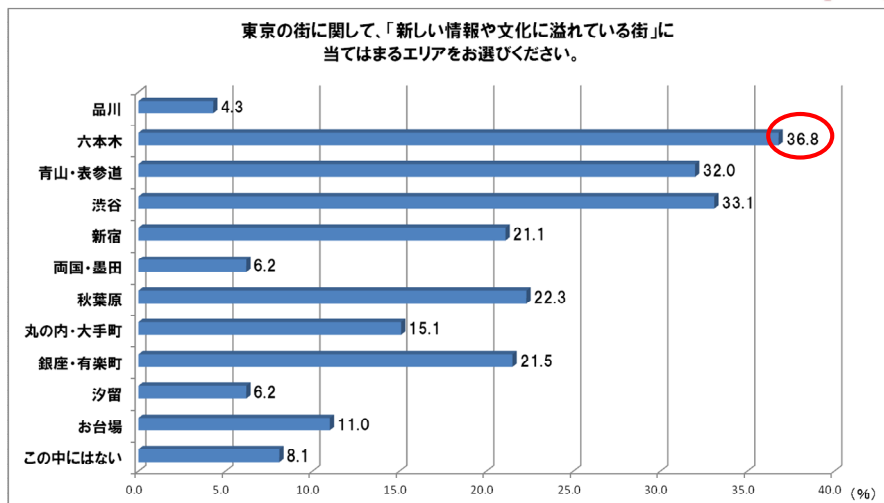
六本木ヒルズは、今後も、新しい情報や文化を発信し続ける街であり続け、六本木のエリア全体、そして東京の魅力向上に努めていきたいと思います。

【グラフ7】





【グラフ 8】

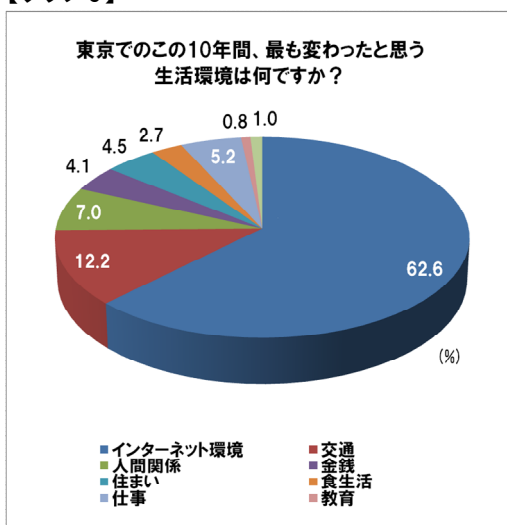


⑥ この 10 年間で最も変化した生活環境は、「インターネット環境」

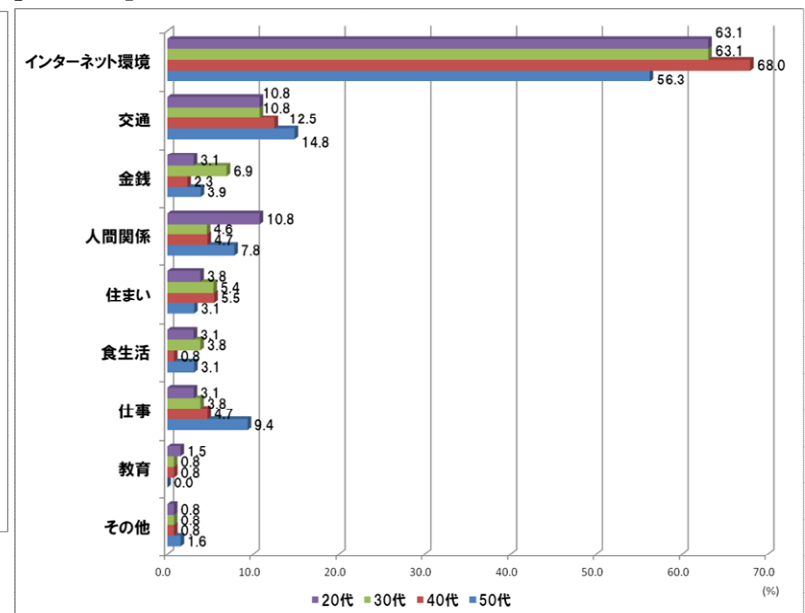
『東京でのこの 10 年間、最も変わったと思う生活環境は何ですか?』との質問に対して、「インターネット環境」を回答した方が **62.6%**と最も多い結果となりました。【グラフ 9】

年代別 (20~50 代) で見ても、全ての年代で「インターネット環境」がトップとなり、近年のソーシャルメディアの普及も大きく影響していると推測されます。【グラフ 10】

【グラフ 9】



【グラフ 10】



【ご参考】六本木ヒルズ 10 周年関連 プレスリリース 今後の予定

六本木ヒルズでは、下記の内容で、開業 10 周年に関連するプレスリリースの発表を予定しております。なお情報解禁日は、プレスリリースの発表日とさせていただきます。

2013 年

- 4 月 8 日 (月) J-WAVE & Roppongi Hills present TOKYO M.A.P.S Anniversary Edition 出演者発表
- 4 月 23 日 (火) プロジェクションマッピングを駆使した特設ウェブサイト「TOKYO CITY SYMPHONY」オープン
- 4 月 24 日 (水) 六本木ヒルズ 10 周年総括 (来場者数や商業店舗の売上推移等の発表)

◇本件に関するお問合せ◇

森ビル株式会社 タウンマネジメント事業部 六本木ヒルズ PR
担当: 田部、山村、松島 TEL: 03-6406-6382 FAX: 03-6406-6483

株式会社プラップジャパン コンシューマーコミュニケーション 3 部
担当: 川上、町田、井出、江川、右山 TEL: 03-4580-9103 FAX: 03-4580-9129